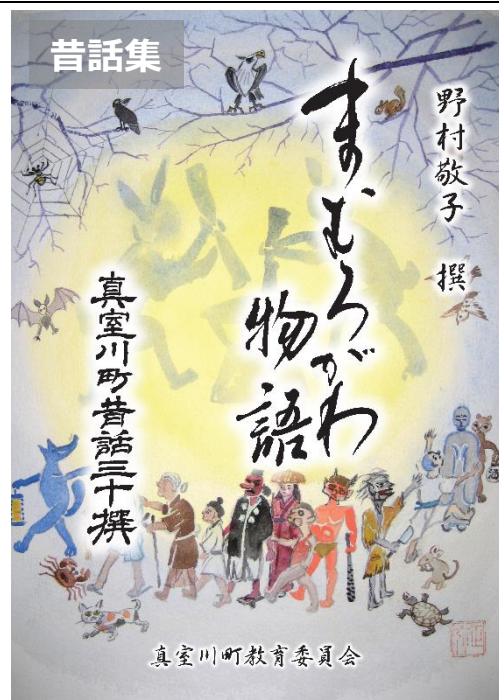


④ 平枝番楽・むかし語り



ふるさと伝承館



平枝番楽(神明神社への奉納)



平枝番楽(番楽公演)

【メモ】

平枝番楽は、江戸時代の半ばに秋田県矢島地方から伝えられたとされる5拍子の番楽である。

平枝地区では、毎年、旧暦の8月1日に神明神社の祭りで神社において五穀豊穡、家内安全、悪魔祓いなどを祈願し、獅子舞を奉納したのち、ふるさと伝承館において番楽公演を行っている。(かつては宿入りし、夜通しで番楽を舞い、その後各戸を「門獅子」が廻り、悪魔祓いを行った。)

昭和48年には平枝番楽保存会を設立し、地区内の集落全戸を会員としている。

昭和55年からは「平枝少年番楽」として旧平枝小と連携した伝承活動を開始し、現在は真室川あさひ小学校児童への指導を行っており、「少年番楽」経験者が舞手、囃子手として保存会の会員となり、活動を行っている。